

第三者評価結果シート（児童養護施設）

種別	児童養護施設
----	--------

①第三者評価機関名

福祉サービス評価センターさが

②評価調査者研修修了番号

No.SK2019022

H19-045

③施設名等

名称	済昭園
施設長氏名	小佐々太郎
定員	45名
所在地(都道府県)	佐賀県
所在地(市町村以下)	嬉野市塩田町大字五町田甲3443番地
TEL	0954-66-2138
URL	http://www.saisyouen.jp

【施設の概要】

開設年月日	1946/4/1
経営法人・設置主体(法人名等)	社会福祉法人 済昭園
職員数 常勤職員	30名
職員数 非常勤職員	5名
有資格職員の名称(ア)	社会福祉士
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(イ)	心理療法担当職員
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(ウ)	栄養士
上記有資格職員の人数	1名
有資格職員の名称(エ)	保育士
上記有資格職員の人数	17名
有資格職員の名称(オ)	社会福祉主事
上記有資格職員の人数	6名
有資格職員の名称(カ)	調理師
上記有資格職員の人数	4名
施設設備の概要(ア)居室数	29部屋
施設設備の概要(イ)設備等	地域交流室、学習室、心理療法室、箱庭療法室
施設設備の概要(ウ)	ブレイルーム、ファミリーソーシャルワーカー室
施設設備の概要(エ)	子育て支援短期利用事業室、一時保護室、アフターケア室等

④理念・基本方針

私たちの使命

私たちは、ここでめぐりあうすべての人を昭らかに済うために、明るい笑顔と優しい言葉で幸せと安心を提供し、社会に貢献します。

私たちの将来像

私たちは、佐賀県で最も微笑みあふれる地域社会を実現し、嬉野にゆかりのある人すべての心の故郷であり続けます。

私たちの価値観

「和顔愛語」～いつも明るく優しい言葉～

いつも明るい笑顔と優しい言葉であなたも笑顔にします。

「照顧脚下」～毎日反省明日の糧～

今日の反省は明日の糧としてわたしとあなたの成長につなげます。

「一期一会」～今日、今は戻らず～

今日、今は再び戻らぬことを心得て毎日、精一杯の誠意を尽くします。

「主人公」～己も他人も大切に～

わたしの尊厳もあなたの尊厳も大切にします。

「一日不作、一日不食」～皆で一緒に～

共に支え合い人のため社会のために貢献します。

⑤施設の特徴的な取組

施設内虐待防止に対する取組みとして、月1回入所児童から聞き取りを実施し、外部委員（中学校校長、小学校校長、児童相談所副所長、元法人理事）及び内部委員による検討会『子どもを守る会』を隔月で行っています。

児童の学習支援について、小学生は公文式を取り入れ毎週土日に取り組んでいます。中高生については、学習塾に通塾させています。

不定期ではありますが、法人内の老人施設との交流を図っています。

⑥第三者評価の受審状況

評価実施期間（ア）契約日（開始日）	2020/8/3
評価実施期間（イ）評価結果確定日	1900/1/0
前回の受審時期（評価結果確定年度）	平成29年度

⑦総評

【特に評価の高い点】

○済昭園全体で、令和2年より機能別事業計画書を立ち上げて、児童養護施設に於ける基本目標と取り組み方針を、4項目（①顧客サービス管理、②財務・収支面、③内部プロセスや体制効率化、④組織・人材面）に分け、それぞれの職種の分野における支援策の充実を図り、組織の末端まで行き届くように支援が行われている。

○地域小規模ユニットケアを今年度立ち上げ、少人数のより家庭生活に近い環境の中で支援を行っている。

○職員のスキルアップを図るため、定められた評価基準を段階的に設けて、職員がスキルの到達度を適切に確認できる仕組みづくりを行うなど、目標実現しやすい体制づくりを構築している。

○健康診断を初め、ストレスチェックの実施とそのフォロー、リフレッシュ休暇（連続有給休暇）利用促進など有給休暇の取得促進、育児・介護休業制度の利用促進など働きやすい職場環境や職員が発言をし易い環境づくりが整備されており、抱え込み、バーンアウト等の精神的な落ち込み防止に力を入れている。

○感染症、苦情処理、生・性教育、ライフストーリーワーク、虐待防止、食生活等の各種委員会活動が活発に行われており、子どもたちへのきめ細かい支援へ繋げている。

○職員が任意で参加している子どもを守る会ではアンケート調査をして、2カ月に1回話し合いをして、子どもの気持ちを吸い上げて、苦情、苦痛、様々な虐待などの困り事に対処している。

【改善を求められる点】

○事業計画の4項目（①顧客サービス管理、②財務・収支面、③内部プロセスや体制効率化、④組織・人材面）について2020年から2023年まで中期目標としているが、是非、単年度の評価、見直し、考察し、次期事業対策まで踏み込み、単年度の到達度を挙げて頂きたい。

○職員の支援は細部まで生き届いている。しかしながら、子どもは、育ちながらいろいろ体験をして学んでいる。施設内の清掃、お手伝い等、子どもが決め、子どもが自分達でやり遂げる。という行いが足りないと思われる。掃除当番、ゴミ出し等の一連の家事労働を、支援の中に入れるなどの検討が望まれる。

○コロナ禍の今、家庭復帰が難しい子どもの対策や虐待対策を含む支援は、非常に難しい課題と思われる。しかしながら、見過ごせない重要な課題であるので、より根気強い支援を期待したい。

⑧第三者評価結果に対する施設のコメント

事業計画については、今年度より事業計画自体の考え方、あり方を刷新しています。

ご指摘の通り、中・長期ビジョンにつながる単年度の到達度も分かりやすく設定したいと思います。

子ども達の育ちながらの経験に関しては、現状、地域小規模児童養護施設ではゴミ出しや皿洗い等、子ども達主体で順番を決めて手伝いをしていますが、本園においても、何かしらの形で支援の中に入れる取り組みを実施したいと思います。

コロナ禍の今、入所児童へも感染予防の為、外出の制限や、保護者のもとへの外泊の制限等さまざまなイレギュラーな負担が出ています。また、その中にある入所児童や保護者を支援する職員の負担も増えています。しかし、児童福祉職として専門的に根気強く取り組んでいきたいと思っています。

⑨第三者評価結果（別紙）

自己評価結果表【タイプA】（児童養護施設）

共通評価基準（45項目）Ⅰ 養育・支援の基本方針と組織

1 理念・基本方針

(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	第三者 評価結果
① 1 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念、基本方針が法人、施設内の文書や広報媒体（パンフレット、ホームページ等）に記載されている。 <input type="checkbox"/> 理念は、法人、施設が実施する養育・支援の内容や特性を踏まえた法人、施設の使命や目指す方向、考え方を読み取ることができる。 <input type="checkbox"/> 基本方針は、法人の理念との整合性が確保されているとともに、職員の行動規範となるよう具体的な内容となっている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、会議や研修会での説明、会議での協議等をもって、職員への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針は、わかりやすく説明した資料を作成するなどの工夫がなされ、子どもや保護者等への周知が図られている。 <input type="checkbox"/> 理念や基本方針の周知状況を確認し、継続的な取組を行っている。	a <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
【コメント】 理念や基本方針は、明確にされ、施設内の掲示やホームページ等で公表、周知されている他、毎日の昼礼時や施設内研修時、理念の唱和を行う、さらには保護者通信等での発信や、各行事等の際に説明があり、周知徹底されている。	

2 経営状況の把握

(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	第三者 評価結果
① 2 施設経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。 <input type="checkbox"/> 社会福祉事業全体の動向について、具体的に把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 地域の各種福祉計画の策定動向と内容を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 子どもの数・子ども像等、養育・支援のニーズ、潜在的に支援を必要とする子どもに関するデータを収集するなど、施設（法人）が位置する地域での特徴・変化等の経営環境や課題を把握し分析している。 <input type="checkbox"/> 定期的に養育・支援のコスト分析や施設入所を必要とする子どもの推移、利用率等の分析を行っている。	b <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>
【コメント】 職員が、小・中学校や各関係機関の会議に出席し、地域の福祉ニーズや社会情勢、子どもの様々な情報、養育支援のニーズ等の把握を行っているものの、分析するまでには至っていない。様々な社会福祉情報を活用、分析し、施設経営に繋げられる取り組みを期待する。	
② 3 経営課題を明確にし、具体的な取組を進めている。 <input type="checkbox"/> 経営環境や養育・支援の内容、組織体制や設備の整備、職員体制、人材育成、財務状況等の現状分析にもとづき、具体的な課題や問題点を明らかにしている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、役員（理事・監事等）間での共有がなされている。 <input type="checkbox"/> 経営状況や改善すべき課題について、職員に周知している。 <input type="checkbox"/> 経営課題の解決・改善に向けて具体的な取組が進められている。	a <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/> <input type="radio"/>

【コメント】

新しい社会的養育ビジョンに沿い、地域小規模児童養護施設の開設や、職員体制も充実させている。法人内で人材育成委員会があり、施設内研修に取り組んでいる。施設の理念や基本方針を基に、国が示す社会的養育ビジョンに到達するよう目指している。10年後の目標実現を運営指針に掲げて、日々、全職員で目標実現に努めている（財務・収支では経費の5パーセント削減等）。

3 事業計画の策定

(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	第三者 評価結果
① 4 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b
<input type="checkbox"/> 中・長期計画において、理念や基本方針の実現に向けた目標(ビジョン)を明確にしている。	○
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、経営課題や問題点の解決・改善に向けた具体的な内容になっている。	○
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	
<input type="checkbox"/> 中・長期計画は必要に応じて見直しを行っている。	○

【コメント】

中・長期的ビジョンに基づいて事業計画は策定されているが、長期的なビジョンについては、施設の機能転換や高機能化について、どう対応していくか、十分に分析されておらず検討の余地がある。今後、具体的な数値目標や成果まで踏み込み、実施状況の分析、評価まで行える中・長期計画の策定に期待する。

② 5 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b
<input type="checkbox"/> 単年度の計画(事業計画と収支予算)に、中・長期計画(中・長期の事業計画と中・長期の収支計画)の内容が反映されている。	
<input type="checkbox"/> 単年度の計画は、実行可能な具体的な内容となっている。	○
<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、単なる「行事計画」になっていない。	○
<input type="checkbox"/> 単年度の事業計画は、数値目標や具体的な成果等を設定することなどにより、実施状況の評価を行える内容となっている。	○

【コメント】

年度計画は、社会的情勢等も踏まえ具体的に作成、実施されているが、明確な長期的ビジョンを踏まえたものではなかったため、今後、長期的ビジョンを明確にしたうえで、さらなる見直し、点検、修正、評価等を行いながら、着実に目標達成に向けた取り組みを期待する。

(2) 事業計画が適切に策定されている。	
① 6 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員等の参画や意見の集約・反映のもとで策定されている。	○
<input type="checkbox"/> 計画期間中において、事業計画の実施状況が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて把握されている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画が、あらかじめ定められた時期、手順にもとづいて評価されている。	○
<input type="checkbox"/> 評価の結果にもとづいて事業計画の見直しを行っている。	○
<input type="checkbox"/> 事業計画が、職員に周知(会議や研修会における説明等)されており、理解を促すための取組を行っている。	○

【コメント】

事業報告で事業計画の評価を行い、その都度、定期的に見直しを行っている。また、その内容は職員会議等の場で周知、説明がなされており、職員の意見や要望については職員ミーティングや会議、研修会などでも取り入れるようにしていることから、施設一丸となって取り組む姿勢が感じられる。

②	7 事業計画は、子どもや保護者等に周知され、理解を促している。	b
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容が、子どもや保護者等に周知(配布、掲示、説明等)されている。	
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を子ども会や保護者会等で説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画の主な内容を分かりやすく説明した資料を作成するなどの方法によって、子どもや保護者等がより理解しやすいような工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事業計画については、子どもや保護者等の参加を促す観点から周知、説明の工夫を行っている。	

【コメント】

事業計画の主な内容は、子ども達に対しては、各棟の自治会等で説明されている。保護者に対しては年度末に作成する保護者通信等で記載し配布している。しかしながら、子どもや保護者等の周知の度合いは明らかではないため、子どもや保護者等の意識が低下しないように、工夫をして印象に残る周知、徹底を図りたい。

4 養育・支援の質の向上への組織的・計画的な取組

(1)	質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	第三者 評価結果
①	8 養育・支援の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 組織的にPDCAサイクルにもとづく養育・支援の質の向上に関する取組を実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容について組織的に評価(C:Check)を行う体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 定められた評価基準にもとづいて、年に1回以上自己評価を行うとともに、第三者評価等を定期的に受審している。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析・検討する場が、施設として位置づけられ実行されている。	○

【コメント】

第三者評価や毎年の自己評価を実施し、教育・支援の評価は自立支援計画策定時に必ず行うようにしているなど、養育、支援の質を向上に向けた組織的な取り組みがなされている。

②	9 評価結果にもとづき組織として取り組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a
	<input type="checkbox"/> 評価結果を分析した結果やそれにもとづく課題が文書化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で課題の共有化が図られている。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果から明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策や改善計画を策定する仕組みがある。	○
	<input type="checkbox"/> 評価結果にもとづく改善の取組を計画的に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 改善策や改善の実施状況の評価を実施するとともに、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。	○

【コメント】

職員会議などで職員間での課題の共有が図られ、課題改善を行い、必要に応じて改善計画の見直しを行っている。また、それぞれの児童個別支援では児童自立支援計画票において、行き届いた目標設定がなされて、順次評価、改善策、実施まで行われている。児童の個別支援計画は冊子を一人ひとり作り、分かりやすい工夫をまとめてられている。

II 施設の運営管理

1 施設長の責任とリーダーシップ

(1) 施設長の責任が明確にされている。		第三者 評価結果
①	10 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの施設の経営・管理に関する方針と取組を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任について、施設内の広報誌等に掲載し表明している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、自らの役割と責任を含む職務分掌等について、文書化するとともに、会議や研修において表明し周知が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 平常時のみならず、有事(事故、災害等)における施設長の役割と責任について、不在時の権限委任等を含め明確化されている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
施設長の役割については、施設単体だけでなく、法人全体で明確化されており、職員に対する経営方針等の周知、理解促進に力を入れられている。また、有事の際の職員連絡網や責任者としての立場は明記しており、副施設長以下の役割分担等についても明確にされている。		
②	11 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、遵守すべき法令等を十分に理解しており、利害関係者(取引事業者、行政関係者等)との適正な関係を保持している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、法令遵守の観点での経営に関する研修や勉強会に参加している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、環境への配慮等も含む幅広い分野について遵守すべき法令等を把握し、取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員に対して遵守すべき法令等を周知し、また遵守するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
コンプライアンス意識は常に高く持っておられ、事業所内、或いは外部研修等、様々な関連機関で情報収集の機会を活用して、遵守すべき法令等の状況理解に努められており、職員への周知にも努められている。		
(2) 施設長のリーダーシップが発揮されている。		
①	12 養育・支援の質の向上に意欲をもちその取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の現状について定期的、継続的に評価・分析を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質に関する課題を把握し、改善のための具体的な取組を明示して指導力を発揮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の意見を反映するための具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、養育・支援の質の向上について、職員の教育・研修の充実を図っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設長は、職員の模範となるように、自己研鑽に励み、専門性の向上に努めている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
施設長自身も宿直等現場業務に携わっており、養育支援に関して各々の職員の支援方法を尊重しつつ、適切なアドバイスを行うようにしながら、定期的な評価、見直しをし職員研修等にも取り組まれている。		

②	13 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、人事、労務、財務等を踏まえ分析を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、施設(法人)の理念や基本方針の実現に向けて、人員配置、職員の働きやすい環境整備等、具体的に取り組んでいる。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性の向上に向けて、施設内に同様の意識を形成するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設長は、経営の改善や業務の実効性を高めるために施設内に具体的な体制を構築し、自らもその活動に積極的に参画している。	○

【コメント】

経営改善や人員・組織体制の整備等に向けて、各委員会や会議等で取り組んでおり、新たな課題や問題にも向き合い、解決策を施設職員全員で共有し模索しながら、職員体制も要望等聞き入れている。

2 福祉人材の確保・育成

(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		第三者 評価結果
①	14 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 必要な福祉人材や人員体制に関する基本的な考え方や、福祉人材の確保と育成に関する方針が確立している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援に関わる専門職(有資格の職員)の配置等、必要な福祉人材や人員体制について具体的な計画がある。	○
	<input type="checkbox"/> 計画にもとづいた福祉人材の確保や育成が実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)として、効果的な福祉人材確保(採用活動等)を実施している。	○
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> 各種加算職員の配置に積極的に取り組み、人員体制の充実に努めている。	○

【コメント】

法人全体で人材育成委員会を組織し、新規採用時、2年目、中堅(3~5年)といった階層別や各専門職員、分野別にわたる体系的な研修が計画的に実施されている。

②	15 総合的な人事管理が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像等」を明確にし、職員自らが将来の姿を描くことができるような総合的な仕組みができています。	○
	<input type="checkbox"/> 人事基準(採用、配置、異動、昇進・昇格等に関する基準)が明確に定められ、職員等に周知されている。	○
	<input type="checkbox"/> 一定の人事基準にもとづき、職員の専門性や職務遂行能力、職務に関する成果や貢献度等を評価している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員処遇の水準について、処遇改善の必要性等を評価・分析するための取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 把握した職員の意向・意見や評価・分析等にもとづき、改善策を検討・実施している。	○

【コメント】

今年度より、法人全体で人事管理の見直しを行い、一定の基準を設けて、段階的に職員個人の達成度を分かるようにしている。理念や基本方針を基に目標や目的に向け、具体的な指針を示している。

(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。

①	16 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 職員の就業状況や意向の把握等にもとづく労務管理に関する責任体制を明確にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の有給休暇の取得状況や時間外労働のデータを定期的に確認するなど、職員の就業状況を把握している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の心身の健康と安全の確保に努め、その内容を職員に周知している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に職員との個別面談の機会を設ける、職員の相談窓口を施設内に設置するなど、職員が相談しやすいような仕組みの工夫をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員の希望の聴取等をもとに、総合的な福利厚生を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> ワーク・ライフ・バランスに配慮した取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 改善策については、人材や人員体制に関する具体的な計画に反映し実行している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 福祉人材の確保、定着の観点から、施設の魅力を高める取組や働きやすい職場づくりに関する取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

職員のストレスチェックやその結果の把握、さらには必要に応じて受診体制が整えられている。また、誕生日特別休暇等の休みを独自に設け、職員の心身の健康と安全の確保に努めているなど、働きやすい職場環境づくりに取り組まれている。

(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。

①	17 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設として「期待する職員像」を明確にし、職員一人ひとりの目標管理のための仕組みが構築されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 個別面接を行う等施設の目標や方針を徹底し、コミュニケーションのもとで職員一人ひとりの目標(目標項目、目標水準、目標期限)が明確かつ適切に設定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、中間面接を行うなど、適切に進捗状況の確認が行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが設定した目標について、年度当初・年度末(期末)面接を行うなど、目標達成度の確認を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

毎年度末に各職員との個別面談で自己評価などとともに次年度の目標設定を行い、職員の研修計画へ反映、受講支援もなされている。さらに今年度より、中間面接を取り入れ、目標に対する進捗状況の確認等を行うようにしている。

②	18 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が目指す養育・支援を実施するために、基本方針や計画の中に、「期待する職員像」を明示している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 現在実施している養育・支援の内容や目標を踏まえて、基本方針や計画の中に、施設が職員に必要とされる専門技術や専門資格を明示している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 策定された教育・研修計画にもとづき、教育・研修が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に計画の評価と見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に研修内容やカリキュラムの評価と見直しを行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

事業計画の中に職員研修計画も明示し、職員の意見を聞きながら教育・研修が実施されている。また、毎月、職員で学習会を開催している。

③	19 職員一人ひとりの教育・研修等の機会が確保されている。	a
	<input type="checkbox"/> 個別の職員の知識、技術水準、専門資格の取得状況等を把握している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 新任職員をはじめ職員の経験や習熟度に配慮した個別的なOJTが適切に行われている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 階層別研修、職種別研修、テーマ別研修等の機会を確保し、職員の職務や必要とする知識・技術水準に応じた教育・研修を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外部研修に関する情報提供を適切に行うとともに、参加を勧奨している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 職員一人ひとりが、教育・研修の場に参加できるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	(5種別共通) <input type="checkbox"/> スーパービジョンの体制を確立し、職員の専門性や施設の組織力の向上に取り組んでいる。	<input type="radio"/>

【コメント】

施設内外の研修には、積極的に参加するようにしている。今年度から、職員の総合的習得基準を段階的設け、各職員の習得状況に応じて、柔軟な指導体制でレベルアップを図るようにしている。

(4) 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。

①	20 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生等の養育・支援の専門職の研修・育成についてのマニュアルが整備されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 専門職種の特性に配慮したプログラムを用意している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 指導者に対する研修を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 実習生については、学校側と、実習内容について連携してプログラムを整備するとともに、実習期間中においても継続的な連携を維持していくための工夫を行っている。	<input type="radio"/>

【コメント】

実習生を指導する職員には、研修を実施し、学校との連携を密にしながら、実習生受け入れマニュアルを作成し、体制強化をしている。

3 運営の透明性の確保

(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。

第三者
評価結果

①	21 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> ホームページ等の活用により、法人、施設の理念や基本方針、養育・支援の内容、事業計画、事業報告、予算、決算情報が適切に公開されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における地域の福祉向上のための取組の実施状況、第三者評価の受審、苦情・相談の体制や内容について公開している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 第三者評価の受審結果、苦情・相談の体制や内容にもとづく改善・対応の状況について公開している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 法人、施設の理念、基本方針やビジョン等について、社会・地域に対して明示・説明し、法人、施設の存在意義や役割を明確にするように努めている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 地域へ向けて、理念や基本方針、施設で行っている活動等を説明した印刷物や広報誌等を配布している。	<input type="radio"/>

【コメント】

ホームページ等を活用して法人運営にかかる理念や事業計画・事業実績・予算・決算状況などを公開している。また、施設独自の広報誌、パンフレット等が必要に応じて配布されている。

② 22 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。

a

施設(法人)における事務、経理、取引等に関するルール、職務分掌と権限・責任が明確にされ、職員等に周知している。

施設(法人)における事務、経理、取引等について内部監査を実施するなど、定期的に確認されている。

施設(法人)の事業、財務について、外部の専門家による監査支援等を実施している。

外部の専門家による監査支援等の結果や指摘事項にもとづいて、経営改善を実施している。

【コメント】

会計規定などの諸規定が整備されており、会計職員と会計責任者とで相互に内部牽制を行いながら、顧問の公認会計士や監事の公認会計士に指導を仰ぎ、実務を行っている。

4 地域との交流、地域貢献

(1) 地域との関係が適切に確保されている。

第三者
評価結果

① 23 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。

b

地域との関わり方について基本的な考え方を文書化している。

子どもの個別の状況に配慮しつつ地域の行事や活動に参加する際、必要があれば職員やボランティアが支援を行う体制が整っている。

施設や子どもへの理解を得るために、地域の人々に向けた日常的なコミュニケーションを心がけている。

子どもの買い物や通院等日常的な活動についても、定型的でなく個々の子どものニーズに応じて、地域における社会資源を利用するよう推奨している。

(児童養護施設)

学校の友人等が施設へ遊びに来やすい環境づくりを行っている。

【コメント】

施設内での友人等の受け入れは共有スペースを使っており、また、地域との関わりについても日常的にコミュニケーションを心掛けている。また、民生委員児童委員はもとより、学習ボランティア、読み聞かせサークル等、引き交流の機会を持っており、さらには施設内の子どもたちも、地域のゴミ拾い、ボランティア活動等を行っている。地域との関わり方に関する注意事項などの文書が作成されていなかったため、今後の取り組みに期待したい。

② 24 ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。

b

ボランティア受け入れに関する基本姿勢を明文化している。

地域の学校教育等への協力について基本姿勢を明文化して取り組んでいる。

ボランティア受け入れについて、登録手続、ボランティアの配置、事前説明等に関する項目が記載されたマニュアルを整備している。

ボランティアに対して子どもとの交流を図る視点等で必要な研修、支援を行っている。

【コメント】

新型コロナウイルスの影響により、ボランティアの申し入れがほとんどなくなっているが、受け入れる研修等も行い、迎える準備も整えている。今後、社会情勢、コロナ感染状況のリスク等を踏まえての、取り組みに期待するとともに、受け入れに関する基本姿勢や受け入れにあたっての手続きやルールが明確化されていないのでこれらを明確にすることも望まれる。

(2) 関係機関との連携が確保されている。

①	25 施設として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 当該地域の関係機関・団体について、個々の子どもの状況に対応できる社会資源を明示したリストや資料を作成している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員会議で説明するなど、職員間で情報の共有化が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 関係機関・団体と定期的な連絡会等を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の関係機関・団体の共通の問題に対して、解決に向けて協働して具体的な取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域に適切な関係機関・団体がない場合には、子どものアフターケア等を含め、地域でのネットワーク化に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

小中学校や児童相談所等の各関係機関の他にもブリッジフォースマイル（※退所後の子ども自立支援、キャリア支援、個別支援を行うNPO団体）と連携し、子どもに質の高い、いろいろな支援を行うようにしている。またその情報は職員間で共有するようにしている。

(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。

①	26 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が実施する事業や運営委員会の開催、関係機関・団体との連携、地域の各種会合への参加、地域住民との交流活動などを通じて、地域の福祉ニーズや生活課題等の把握に努めている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

法人で市から地域包括支援センターの委託を受けており、地域福祉ニーズや生活課題等の把握にも努めている。また、民生委員児童委員と施設の子どもたちとの交流会を年に1回開き、子どもと一緒にレクリエーションや食事会などをやっている。

②	27 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいて、法で定められた社会福祉事業にとどまらない地域貢献に関わる事業・活動を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 把握した福祉ニーズ等にもとづいた具体的な事業・活動を、計画等で明示している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 多様な機関等と連携して、社会福祉分野のみならず、地域コミュニティの活性化やまちづくりなどにも貢献している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設(法人)が有する養育・支援に関するノウハウや専門的な情報を、地域に還元する取組を積極的に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 地域の防災対策や、被災時における福祉的な支援を必要とする人びと、住民の安全・安心のための備えや支援の取組を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

近隣住民が避難所として利用したことはなく、地域の防災拠点として住民には十分には浸透されていない。法人全体との関係性もあるので簡単にはいかないと思われるが、地域に根付く施設として災害も想定した取り組みに期待する。

Ⅲ 適切な養育・支援の実施

1 子ども本位の養育・支援

(1) 子どもを尊重する姿勢が明示されている。		第三者 評価結果
①	28 子どもを尊重した養育・支援の実施について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針に、子どもを尊重した養育・支援の実施について明示し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する「倫理綱領」や規程等を策定し、職員が理解し実践するための取組を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもを尊重した養育・支援の実施に関する基本姿勢が、個々の支援の標準的な実施方法等に反映されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、施設で勉強会・研修を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもの尊重や基本的人権への配慮について、定期的に状況の把握・評価等を行い、必要な対応を図っている。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
子どもを尊重した養育・支援の基本方針については、事業計画に明示している。職員会議や勉強会、研修等で認識を深めるとともに職員間で情報の共有化が図られている。		
②	29 子どものプライバシー保護に配慮した養育・支援が行われている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものプライバシー保護について、社会福祉事業に携わる者としての姿勢・責務等を明記した規程・マニュアル等が整備され、職員への研修によりその理解が図られている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 規程・マニュアル等にもとづいて、プライバシーに配慮した養育・支援が実施されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 一人ひとりの子どもにとって、生活の場にふさわしい快適な環境を提供し、子どものプライバシーを守れるよう設備等の工夫を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等にプライバシー保護に関する取組を周知している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
個人情報、プライバシー保護に関しては、職員にも研修等で周知し日々の業務の中に取り入れられている。また規定や具体的なマニュアルも整備されている。		
(2) 養育・支援の実施に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
①	30 子どもや保護者等に対して養育・支援の利用に必要な情報を積極的に提供している。	a
	<input type="checkbox"/> 理念や基本方針、養育・支援の内容や施設の特性等を紹介した資料を準備している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設を紹介する資料は、言葉遣いや写真・図・絵の使用等で誰にでもわかるような内容にしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設に入所予定の子どもや保護者等については、個別に丁寧な説明を実施している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 見学等の希望に対応している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に対する情報提供について、適宜見直しを実施している。	<input type="checkbox"/>
【コメント】		
理念や基本方針、養育・支援の内容等については保護者通信に掲載し保護者等に配布している。見学や相談受付等も要望に応じて随時受け入れている。さらに個人情報の保護については、同意書の取り扱いがなされている。		

②	31 養育・支援の開始・過程において子どもや保護者等にわかりやすく説明している。	b
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等が自らの状況を可能な限り認識し、施設が行う養育・支援についてできるだけ主体的に選択できるよう、よりわかりやすくなるような工夫や配慮をして説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程における養育・支援の内容に関する説明と同意にあたっては、子どもや保護者等の自己決定を尊重している。	○
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の開始・過程においては、子どもや保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残している。	○
	<input type="checkbox"/> 意思決定が困難な子どもや保護者等への配慮についてルール化され、適正な説明、運用が図られている。	

【コメント】

連絡がとれる保護者には、子どもの重要な場面（進路選択時等）はもちろんのこと、その都度保護者等と子どもの自己決定を尊重している。しかしながら、子どもや保護者の状況によっては説明が困難な場合があるものの、その対応方法についてはルール化等されておらず、今後の取り組みに期待したい。

③	32 養育・支援の内容や措置変更、地域・家庭への移行等にあたり養育・支援の継続性に配慮した対応を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の内容の変更にあたり、従前の内容から著しい変更や不利益が生じないように配慮されている。	○
	<input type="checkbox"/> 他の施設や地域・家庭への移行にあたり、養育・支援の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した後も、施設として子どもや保護者等が相談できるように担当者や窓口を設置している。	○
	<input type="checkbox"/> 施設を退所した時に、子どもや保護者等に対し、その後の相談方法や担当者について説明を行い、その内容を記載した文書を渡している。	○

【コメント】

退所した子どもへの対応方法については、家庭支援専門員がアフターケアとして、退所後の支援計画票を作成し、家庭訪問の際に保護者等に説明している。

(3) 子どもの満足の向上に努めている。

第三者
評価結果

①	33 子どもの満足の向上を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査が定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの個別の相談面接や聴取等が、子どもの満足を把握する目的で定期的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員等が、子どもの満足を把握する目的で、子ども会等に出席している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの満足に関する調査の担当者等の設置や、把握した結果を分析・検討するために、子ども参画のもとで検討会議の設置等が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 分析・検討の結果にもとづいて具体的な改善を行っている。	○

【コメント】

子どもの要望に対して、自治会等で挙げたことは記録し、施設長に報告されている。また、子どもを守る会（コロナの為中断中）の月1回のアンケートで満足度に関するアンケートも取っている。子どもの日課にも、ほぼ毎日ミーティングやファミリータイムが組み込まれて、子どもが発言する機会を設けている。施設内の間取りも考慮して、子どもの様子を見たり、対話出来る環境を整えている。

(4) 子どもが意見等を述べやすい体制が確保されている。

①	34 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の実施等から生じた苦情に適切に対応することは責務であることを理解し、苦情解決の体制(苦情解決責任者の設置、苦情受付担当者の設置、第三者委員の設置)が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情解決の仕組みをわかりやすく説明した掲示物が掲示され、資料を子どもや保護者等に配布し説明している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情記入カードの配布やアンケート(匿名)を実施するなど、子どもや保護者等が苦情を申し出しやすい工夫を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容については、受付と解決を図った記録を適切に保管している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情内容に関する検討内容や対応策、解決結果等については、子どもや保護者等に必ずフィードバックするとともに、苦情を申し出た子どもや保護者等のプライバシーに配慮したうえで、公開している。	○
	<input type="checkbox"/> 苦情相談内容にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○

【コメント】

苦情箱(意見箱)を設置し、必要に応じてホームページで公表している。施設長を責任者として、苦情受付担当職員、苦情処理委員会、第三者委員の設置等、体制整備が整われている。児童や保護者等からの要望や苦情については、勉強会、研修等でも周知が図られている。

②	35 子どもが相談や意見を述べやすい環境を整備し、子ども等に周知している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが相談したり意見を述べたりする際に、複数の方法や相手を自由に選べることをわかりやすく説明した文書を作成している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもや保護者等に、その文書の配布やわかりやすい場所に掲示する等の取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談をしやすい、意見を述べやすいスペースの確保等の環境に配慮している。	○

【コメント】

子どもたちには担当職員に限らず、どの職員にも相談でき、苦情箱(意見箱)や学校の先生、児童相談所へ直接相談するなどの方法があることが周知されている。

③	36 子どもからの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b
	<input type="checkbox"/> 職員は、日々の養育・支援の実施において、子どもが相談しやすく意見を述べやすいように配慮し、適切な相談対応と意見の傾聴に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見箱の設置、アンケートの実施等、子どもの意見を積極的に把握する取組を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 相談や意見を受けた際の記録の方法や報告の手順、対応策の検討等について定めたマニュアル等を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、把握した相談や意見について、検討に時間がかかる場合に状況を速やかに説明することを含め迅速な対応を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 意見等にもとづき、養育・支援の質の向上に関わる取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 対応マニュアル等の定期的な見直しを行っている。	○

【コメント】

毎月のアンケートをはじめ、子どもたちからの相談については2ヶ月に1回開催している子どもを守る会で検討し対応するようにしている。ただ、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中断を余儀なくされており、緊急性が高い内容については、適宜対応している状況である。今後マニュアル等の見直しを期待したい。

(5) 安心・安全な養育・支援の実施のための組織的な取組が行われている。		第三者 評価結果
①	37 安心・安全な養育・支援の実施を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a
	<input type="checkbox"/> リスクマネジメントに関する責任者の明確化(リスクマネージャーの選任・配置)、リスクマネジメントに関する委員会を設置するなどの体制を整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 事故発生時の対応と安全確保について責任、手順(マニュアル)等を明確にし、職員に周知している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの安心と安全を脅かす事例の収集が積極的に行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 収集した事例をもとに、職員の参画のもとで発生要因を分析し、改善策・再発防止策を検討・実施する等の取組が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員に対して、安全確保・事故防止に関する研修を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 事故防止策等の安全確保策の実施状況や実効性について、定期的に評価・見直しを行っている。	○
【コメント】 子どもの安心と安全を脅かす事例等については、昼礼、会議で適宜、報告、検討している。また、事故対応マニュアルを作成し、職員に周知するなどしながら、安全確保・事故防止に関する研修会も実施している。		
②	38 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 感染症対策について、責任と役割を明確にした管理体制が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防と発生時等の対応マニュアル等を作成し職員に周知徹底するとともに、定期的に見直している。	○
	<input type="checkbox"/> 担当者等を中心にして、定期的に感染症の予防や安全確保に関する勉強会等を開催している。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症の予防策が適切に講じられている。	○
	<input type="checkbox"/> 感染症が発生した場合には対応が適切に行われている。	○
【コメント】 感染症予防等の安全衛生に関するマニュアルが整備され、職員や子どもたちへの周知が図られているほか、新型コロナウイルス感染症の影響により、施設内消毒、次亜塩素酸水、加湿器の使用、外出時のマスク着用で予防対策をしている。また、感染症予防委員会を設置し、毎月委員会を開いて、メンバーを中心に年に2回ほど施設内研修等を開き、様々な感染症に対して、具体的な予防対策を講じている。		
③	39 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 災害時の対応体制が決められている。	○
	<input type="checkbox"/> 立地条件等から災害の影響を把握し、発災時においても養育・支援を継続するために「事業継続計画」(BCP)を定め、必要な対策・訓練等を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子ども及び職員の安否確認の方法が決められ、すべての職員に周知されている。	○
<input type="checkbox"/> 食料や備品類等の備蓄リストを作成し、管理者を決めて備蓄を整備している。	○	
【コメント】 法人全体で災害時マニュアル・防災計画・備蓄品の整備をしている。また、法人の業務計画の中で、防災委員会活動を行い、夜間総合避難訓練、夜間想定避難訓練、風水害避難訓練を年1～2回実施している。さらに新規採用者には9月に夜間の防火体制について研修をしている。		

2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の標準的な実施方法が確立している。		第三者 評価結果
①	40 養育・支援について標準的な実施方法が文書化され養育・支援が実施されている。	a
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法が適切に文書化されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法には、子どもの尊重や権利擁護とともにプライバシーの保護に関わる姿勢が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法について、研修や個別の指導等によって職員に周知徹底するための方策を講じている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 標準的な実施方法にもとづいて実施されているかどうかを確認する仕組みがある。	<input type="radio"/>
【コメント】		
養育・支援について標準的な実施方法は研修等で職員に周知している。具体的には、段階的に実施内容を詳細にあげ、職員全員が理解出来るようにしており、子どもの個別支援計画書と関係性を持たせ、養育・支援の実施に繋げている。更に、事業計画の具体的な活動として支援の実践をし、その取り組みの評価、見直し、改善策を立てるようにしている。		
②	41 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しに関する時期やその方法が施設で定められている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 養育・支援の標準的な実施方法の検証・見直しが定期的に実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、自立支援計画の内容が必要に応じて反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 検証・見直しにあたり、職員や子ども等からの意見や提案が反映されるような仕組みになっている。	<input type="radio"/>
【コメント】		
自立支援計画は、子どもの意見も反映させながら定期的に見直しを行っている。また、段階的に総合的習得基準を満たしているかの確認作業をして、支援として実践している。		
(2) 適切なアセスメントにより自立支援計画が策定されている。		
①	42 アセスメントにもとづく個別的な自立支援計画を適切に策定している。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画策定の責任者を設置している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> アセスメント手法が確立され、適切なアセスメントが実施されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 部門を横断したさまざまな職種の関係職員（種別によっては施設以外の関係者も）が参加して、アセスメント等に関する協議を実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画には、子ども一人ひとりの具体的なニーズ、具体的な養育・支援の内容等が明示されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を策定するための部門を横断したさまざまな職種による関係職員（種別によっては組織以外の関係者も）の合議、子どもの意向把握と同意を含んだ手順を定めて実施している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 支援困難ケースへの対応について検討し、積極的かつ適切な養育・支援が行われている。	<input type="radio"/>
【コメント】		
全体会議で、担当職員、主幹職員、家庭支援専門員、心理職員、里親支援専門員等の多職種が集まり、評価検討を行っている。また、研修等でアセスメント法を学び、子どもの支援課題解決策を考えられている。支援困難なケースの場合は児童相談所等の各関係機関等と連携していきながら対応するようにしている。		

②	43 定期的に自立支援計画の評価・見直しを行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画どおりに養育・支援が行われていることを確認する仕組みが構築され、機能している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の見直しについて、見直しを行う時期、検討会議の参加職員、子どもの意向把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 見直しによって変更した自立支援計画の内容を、関係職員に周知する手順を定めて実施している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画を緊急に変更する場合の仕組みを整備している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画の評価・見直しにあたっては、標準的な実施方法に反映すべき事項、養育・支援を十分に実施できていない内容(ニーズ)等、養育・支援の質の向上に関わる課題等が明確にされている。	○

【コメント】

自立支援計画については定期的な見直しを行っている。緊急を要する場合は、棟単位でリーダーを中心に適宜行える体制を取っている。その際、ケース会議、児童相談所、学校等関係機関と相談し、子どもに適した支援を行っている。

(3) 養育・支援の実施の記録が適切に行われている。

①	44 子どもに関する養育・支援の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの身体状況や生活状況等を、施設が定めた統一した様式によって把握し記録している。	○
	<input type="checkbox"/> 自立支援計画にもとづく養育・支援が実施されていることを記録により確認することができる。	○
	<input type="checkbox"/> 記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録要領の作成や職員への指導等の工夫をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設における情報の流れが明確にされ、情報の分別や必要な情報が的確に届くような仕組みが整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 情報共有を目的とした会議の定期的な開催等、部門横断での取組がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> パソコンのネットワークシステムの利用や記録ファイルの閲覧等を実施して、施設内で情報を共有する仕組みが整備されている。	○

【コメント】

養育・支援の実施記録については、日々のケース記録に自立支援計画とともに適切に評価、保存されており、職員間で共有出来るようにしている。

②	45 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 個人情報保護規程等により、子どもの記録の保管、保存、廃棄、情報の提供に関する規定を定めている。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の不適正な利用や漏えいに対する対策と対応方法が規定されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録管理の責任者が設置されている。	○
	<input type="checkbox"/> 記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は、個人情報保護規程等を理解し、遵守している。	○
	<input type="checkbox"/> 個人情報の取扱いについて、子どもや保護者等に説明している。	○

【コメント】

子どもに関する記録管理体制については、個人情報保護法のもと法人全体で規定文書を作成し、支援が行われている。記録の管理についての研修も職員会議やミーティングなどで行われている。

内容評価基準（25項目）

A-1 子どもの権利擁護、最善の利益に向けた養育・支援

(1) 子どもの権利擁護	第三者 評価結果
<p>① A1 子どもの権利擁護に関する取組が徹底されている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護について、規程・マニュアル等が整備され、職員の理解が図られている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの権利擁護に関する取組が周知され、規程・マニュアル等にもとづいた養育・支援が実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利擁護に関する取組について職員が具体的に検討する機会を定期的に設けている。</p> <p><input type="checkbox"/>権利侵害の防止と早期発見するための具体的な取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの思想・信教の自由について、最大限に配慮し保障している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>子どもの権利擁護に関して、定期的に職員で検討する機会を設けている。また、入所時には、子どもの権利ノートを配布し、意見表明の仕方、権利擁護についての説明をしている。また、在籍している児童にも、年1回説明を行うとともに、それに準じた養育・支援が実施されている。</p>	
(2) 権利について理解を促す取組	
<p>① A2 子どもに対し、自他の権利について正しい理解を促す取組を実施している。</p> <p><input type="checkbox"/>権利についての理解を深めるよう、年齢に配慮した説明を工夫し、日常生活を通して支援している。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの年齢や状態に応じて、権利についての理解を深めるよう、権利ノートやそれに代わる資料等を使用して、生活の中で保障されるさまざまな権利についてわかりやすく説明している。</p> <p><input type="checkbox"/>職員間で子どもの権利に関する学習機会を持っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりがかけがえのない大切な存在であり、自分を傷つけたりおとしめたりしてはならないこと、また、他人を傷つけたり脅かしたりしてはならないことが、日々の養育の中で伝わっている。</p> <p><input type="checkbox"/>年下の子どもや障がいのある子どもなど、弱い立場にある子どもに対して、思いやりの心をもって接するように支援している。</p>	<p>a</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>子どもの権利擁護に関して、定期的に職員で検討する機会を設けている。また、入所時には、子どもの権利ノートを配布し、意見表明の仕方、権利擁護についての説明をしている。また、在籍している児童にも、年1回説明を行うとともに、それに準じた養育・支援が実施されている。</p>	
(3) 生き立ちを振り返る取組	
<p>① A3 子どもの発達状況に応じ、職員と一緒に生き立ちを振り返る取組を行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子どもの発達状況等に応じて、適切に事実を伝えようと努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝える場合には、個別の事情に応じて慎重に対応している。</p> <p><input type="checkbox"/>伝え方や内容などについて職員会議等で確認し、職員間で共有している。</p> <p><input type="checkbox"/>事実を伝えた後、子どもの変容などを十分把握するとともに、適切なフォローを行っている。</p> <p><input type="checkbox"/>子ども一人ひとりに成長の記録(アルバム等)が用意され、空白が生じないように写真等の記録の収集・整理に努めている。</p> <p><input type="checkbox"/>成長の過程を必要に応じて職員と一緒に振り返り、子どもの生き立ちの整理に繋がっている。</p>	<p>b</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p> <p>○</p>
<p>【コメント】</p> <p>子どもの発達状況に応じて、職員会議などで話すタイミングを相談しながら、子どもの気持ちを尊重し、取り組まれているが、主に退所が近いと考えられる子どもから行っており、全員には取り組めていない。施設としても子どもたち全員に行っていきたいと考えているので、今後の取り組みに期待したい。</p>	

(4) 被措置児童等虐待の防止等

①	A4 子どもに対する不適切なかかわりの防止と早期発見に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 体罰や不適切なかかわり(暴力、人格的辱め、心理的虐待など)があった場合を想定して、施設長が職員・子ども双方にその原因や体罰等の内容・程度等、事実確認をすることや、「就業規則」等の規程に基づいて厳正に処分を行う仕組みがとられている。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切なかかわりの防止について、会議等で具体的な例を示すなどして職員に徹底し、行われていないことを確認している。また、不適切なかかわりを発見した場合は、記録し、必ず施設長に報告することが明文化されている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分自身を守るための知識、具体的方法について学習する機会を設けており、不適切なかかわりの具体的な例を示して、子どもに周知し、子ども自らが訴えることができるようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待が疑われる事案が生じたときに、施設内で検証し、第三者の意見を聞くなどの迅速かつ誠実な対応をするための体制整備ができており、被措置児童等虐待の届出・通告があった場合には、届出者・通告者が不利益を受けることのない仕組みが整備・徹底されている。	○
	<input type="checkbox"/> 被措置児童等虐待の届出・通告制度について説明した資料を子ども等に配布、説明している。また、掲示物を掲示するなどして、子どもが自ら訴えることができるようにしている。	○

【コメント】

子どもに対する不適切な関わりの防止については、職員だけでなく、子どもたちへも適切な距離感の学習をさせ(性・生教育)対策を行っている。具体的には虐待防止研修・権利擁護さらに新職員と中堅職に心構えと虐待防止研修・意見交換などを行っている。虐待防止委員会活動も年6回施設内研修等を行い、職員のスキルアップを図っている。

(5) 子どもの意向や主体性への配慮

①	A5 職員と子どもが共生の意識を持ち、生活全般について共に考え、快適な生活に向けて子ども自身が主体的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 快適な生活に向けての取組を職員と子どもが共に考え、自分たちで生活をつくっているという実感を持たせるとともに、施設の運営に反映させている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが自分たちの生活における問題や課題について主体的に検討する機会を日常的に確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 余暇の過ごし方について、子ども自身が自由に選択し、一人ひとりの趣味や興味に合った活動が行えるように支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの状況に応じて、金銭の管理や計画的な使い方などを学び、金銭感覚や経済観念が身につくよう支援している。	○

【コメント】

各棟で自治会を行い、日頃の生活での意見を出し、話し合っており、その内容は、自治会ノートに記録している。子どもの状況に応じて職員が付き添いながら一人ひとりの趣味や興味に合う活動に加え、金銭管理や計画的な使い方等を学び、金銭感覚や経済観念が身につくように支援を行っている。

(6) 支援の継続性とアフターケア

①	A6 子どものそれまでの生活とのつながりを重視し、不安の軽減を図りながら移行期の支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの生活の連続性に関して、施設全体でその重要性を理解し、入所や退所に伴う不安を理解し受け止めるとともに、子どもの不安を軽減できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 入所した時、温かく迎えることができるよう、受け入れの準備をしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもがそれまでの生活で築いてきた人間関係などを、可能な限り持続できるように配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 家庭復帰や施設変更にあたり、子どもが継続して安定した生活を送ることができるよう、支援を行っている。	○

【コメント】

家庭支援専門員、個別対応職員のみならず、対象児童に関わる全ての職員で支援を行っている。具体的には、入所前や希望があれば施設内見学に応じて、入所をするにあたり、前もって子どもの嗜好、好きな事、興味を示すもの等聞いておき、施設内全員で迎える準備をしている。退所時も卒園激励会やそれぞれの職員、在園児からお祝いの言葉かけの文章が贈られている。

②	A7 子どもが安定した社会生活を送ることができるようリービングケアと退所後の支援に積極的に取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 子どものニーズを把握し、退所後の生活に向けてリービングケアの支援を行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所後も施設に相談できる窓口(担当者)があり、支援をしていくことを伝えている。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者の状況の把握に努め、記録が整備されている。	○
	<input type="checkbox"/> 行政機関や福祉機関、あるいは民間団体等と連携を図りながらアフターケアを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 本人からの連絡だけでなく、就労先、アパート等の居住先からの連絡、警察等からのトラブル発生の連絡などにも対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 退所者が集まれる機会や、退所者と職員・入所している子どもとが交流する機会を設けている。	○

【コメント】

退所後に子どもが安定した社会生活を営めるよう、基本的な行政手続きや交通機関の利用方法、その他社会生活に必要な事を職員が付き添いながら支援を行っている。また、アフターケアについては担当職員が窓口となり、行政・福祉等の機関やNPO法人ブリッジフォースマイル等の団体と連携して行っている。

A-2 養育・支援の質の確保

(1) 養育・支援の基本		第三者 評価結果
①	A8 子どもを理解し、子どもが表出する感情や言動をしっかり受け止めている。	a
	<input type="checkbox"/> 職員はさまざまな知見や経験によって培われた感性に基づいて子どもを理解し、受容的・支持的な態度で寄り添い、子どもと共に課題に向き合っている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもの生育歴を知り、そのときどきで子どもの心に何が起こっていたのかを理解している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもが表出する感情や言動のみを取り上げるのではなく、被虐待体験や分離体験などに伴う苦痛・いかり、見捨てられ感も含めて、子どもの心に何が起こっているのかを理解しようとしている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもに行動上の問題等があった場合、単にその行為を取り上げて叱責するのではなく、背景にある心理的課題の把握に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもたちに職員への信頼が芽生えていることが、利用者アンケートを通じて感じられる。	○
【コメント】		
子どもの年齢や立場、また心身の健康、生育歴等を考慮し、それぞれに合った支援を行うよう、日々支援に取り組まれている。子どもの意思表示の意味を捉え、最適な支援策を取っており、子どもに寄り添った視点で、行事計画等を立て実施している。成長、生育に欠かせない愛情を注げる人として、時に厳しく、時に優しく寄り添う存在として、暖かく見守り、長い間の信頼関係を築ける支援に取り組んでいる。		
②	A9 基本的欲求の充足が、子どもと共に日常生活を構築することを通してなされるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的欲求の充足において、子どもと職員との関係性を重視している。	○
	<input type="checkbox"/> 生活の決まりは、秩序ある生活の範囲内で子どもの意思を尊重した柔軟なものとなっている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって身近な職員が一定の裁量権を有し、個々の子どもの状況に応じて柔軟に対応できる体制となっている。	○
	<input type="checkbox"/> 基本的な信頼関係を構築するために職員と子どもが個別的に触れ合う時間を確保している。	○
	<input type="checkbox"/> 夜目覚めるとき大人が存在が感じられるなど安心感に配慮している。	○
【コメント】		
児童の基本的欲求については、可能な限り満たしている。子どもの年齢別に応じた生活空間を整えて、食事、睡眠、排せつなど適正な動線と空間を配慮したり、子どもの意思表示に対して目配り、気配りを行う等、子ども一人ひとりの基本的欲求を満たすよう努めている。また、生活のきまりは、自治会等で話し合い決めている。子どもが安心して生活出来る日常と職員との信頼関係を結ぶ支援に取り組んでいる。		

③	A10 子どもの力を信じて見守るという姿勢を大切にし、子どもが自ら判断し行動することを保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもがやらなければならないことや当然できることについては、子ども自身が行うように見守ったり、働きかけたりしている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員は必要以上の指示や制止をしていない。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもを見守りながら状況を的確に把握し、賞賛、励まし、感謝、指示、注意等の声かけを適切に行っている。	○
	<input type="checkbox"/> つまずきや失敗の体験を大切に、主体的に問題を解決していくよう支援し、必要に応じてフォローしている。	○
	<input type="checkbox"/> 朝・夕の忙しい時間帯にも、職員が子どもを十分に把握、援助できるように、職員の配置に配慮している。	○

【コメント】

子ども一人ひとりの自主性を尊重し、必要以上の指示や制止はせず、賞賛、励まし、感謝、支持、注意等の声掛けを適切に行っている。事前の子どもへのアンケート調査からは、子どもからの訴えは少なく、施設では過ごしやすい日常と考えられる。小規模グループホーム等のそれぞれのホームでも、目配りと気配りが行われて、子どもが安心して生活する様子が感じられる。

④	A11 発達の状況に応じた学びや遊びの場を保障している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設内での養育が、年齢や発達の状況、課題等に応じたプログラムの下、実施されている。	○
	<input type="checkbox"/> 日常生活の中で、子どもたちの学びや遊びに関するニーズを把握し、可能な限りニーズに応えている。	○
	<input type="checkbox"/> 幼児から高校生まで、年齢段階に応じた図書などの文化財、玩具・遊具が用意、利用されている。	○
	<input type="checkbox"/> 学校や地域にある子どもたちの学びや遊びに関する情報を把握し、必要な情報交換ができています。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへのニーズに応えられない場合、子どもがきちんと納得できる説明がされている。	○
	<input type="checkbox"/> 幼稚園等に通わせている。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもへの学びや遊びを保障するための、資源(専門機関やボランティア等)が十分に活用されている。	○

【コメント】

養育上、特に何らかの課題がある子には、当施設と児童相談所等の心理司が連携して支援を行っている。また、支援計画に子どもの課題解決策を入れ、目標実現に向け働きかけている。教育では、幼児は幼稚園に通園、学童や中学生は学習ボランティアを利用、高校生は塾に通わせる等、本人が希望すれば利用出来るようになっている。また、趣味や運動、特技など、子どもが希望すれば出来る範囲で習い事等が利用できるようになっている。

⑤	A12 生活のいとなみを通して、基本的な生活習慣を確立するとともに、社会常識及び社会規範、様々な生活技術が習得できるよう養育・支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもが社会生活をいとなむ上での必要な知識や技術を日常的に伝え、子どもがそれらを習得できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 子どもと職員が十分な話し合いのもとに「しなければならないこと」と「してはならないこと」を理解し、生活するうえでの規範等守るべき決まりや約束を一緒に考え作っていくようにしている。	○
	<input type="checkbox"/> 地域社会への積極的参加を図る等、社会性を習得する機会を設けている。	○
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じ、身体の健康(清潔、病気、事故等)について自己管理できるよう支援している。	○
	<input type="checkbox"/> 発達の状況に応じて、電話の対応、ネットやSNSに関する知識などが身につくように支援している。	○

【コメント】

ネットやSNSに関する注意点等、今後子どもが社会生活を営む上で必要な知識等についてはその都度教えている。また、子どもが、地域との交流会やその他運動会等の行事で、様々な体験をして、挨拶、立ち居振舞い、作法等、習得することができるよう支援に努めている。

(2) 食生活

①	A13 おいしく楽しみながら食事ができるように工夫している。	a
	<input type="checkbox"/> 楽しい雰囲気ですぐに食事ができるように、年齢や個人差に応じて食事時間に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事時間が他の子どもと違う場合にも、温かいものは温かく、冷たいものは冷たくという食事の適温提供に配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食事場所は明るく楽しい雰囲気、常に清潔が保たれたもとで、職員と子ども、そして子ども同士のコミュニケーションの場として機能するよう工夫している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 定期的に残食の状況や子どもの嗜好を把握するための取組がなされ、それが献立に反映されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 基礎的な調理技術を習得できるよう、食事やおやつをつくる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

栄養士、調理師と各棟職員が連携して、アレルギー体質や体調不良の子どもに配慮し、ユニット別にメニューを考え、食事ができるように工夫している。地域小規模のグループホームでは本園とは別にメニューを作り、子どもと一緒に買い出し、調理したりする等、より家庭的な食事を提供している。食生活委員会活動では、月1回各棟で食材購入から最後の片付けまで実施している。

(3) 衣生活

①	A14 衣類が十分に確保され、子どもが衣習慣を習得し、衣服を通じて適切に自己表現できるように支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 常に衣服は清潔で、体に合い、季節に合ったものを着用している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 汚れた時にすぐに着替えることができ、またTPOに合わせた服装ができるよう、十分な衣類が確保されている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 気候、生活場面、汚れなどに応じた選択、着替えや衣類の整理、保管などの衣習慣を習得させている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 洗濯、アイロンかけ、補修等衣服の管理を子どもの見えるところで行うよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 衣服を通じて子どもが適切に自己表現をできるように支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達状況や好みに合わせて子ども自身が衣服を選択し購入できる機会を設けている。	<input type="radio"/>

【コメント】

職員は、季節に合わせて必要な衣類を子どもに付き添いながら購入するようにしている。また、子どもの好みを尊重した上で、TPOに応じた服選びを支援するように努めており、子どもが自分らしく自己表現出来るよう取り組んでいる。

(4) 住生活

①	A15 居室等施設全体がきれいに整美され、安全、安心を感じる場所となるように子ども一人ひとりの居場所を確保している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもにとって居心地の良い安心安全な環境とは何かを考え、積極的に環境整備を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 小規模グループでの養育を行う環境づくりに配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 中学生以上は個室が望ましいが、相部屋であっても個人の空間を確保している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 身につけるもの、日常的に使用するもの、日用品などは、個人所有としている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 食堂やリビングなどの共有スペースは常にきれいにし、家庭的な雰囲気になるよう配慮している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 設備や家具什器について、汚れたり壊れたりしていない。破損個所については必要な修繕を迅速に行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 発達や子どもの状況に応じて日常的な清掃や大掃除を行い、居室等の整理整頓、掃除等の習慣が身につくようにしている。	<input type="radio"/>

【コメント】

中学生以上の子どもはほぼ個室で過ごしており、相部屋であってもそれぞれに自己の自由空間を保つように配慮されている。採光、通風良く、快適に見受け、室温、湿度も適切に管理されており、施設内の環境については整然として明るくするように努めており、子どもにとって心地よい居場所づくりに取り組んでいる。

(5) 健康と安全

①	A16 医療機関と連携して一人ひとりの子どもに対する心身の健康を管理するとともに、必要がある場合は適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 子どもの平常の健康状態や発育・発達状態を把握し、定期的に子どもの健康管理に努めている。	○
	<input type="checkbox"/> 健康上特別な配慮を要する子どもについては、医療機関と連携して、日頃から注意深く観察し、対応している。	○
	<input type="checkbox"/> 受診や服薬が必要な場合、子どもがその必要性を理解できるよう、説明している。服薬管理の必要な子どもについては、医療機関と連携しながら服薬や薬歴のチェックを行っている。	○
	<input type="checkbox"/> 職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深める努力をしている。	○

【コメント】

子どもの健康管理については、常に気をつけており、予防接種歴等、母子手帳を見ても不明な時には、児童相談所等とも連携して確認を行うようにしている。また、年に3回感染症予防委員会を開催し、職員間で医療や健康に関して学習する機会を設け、知識を深めるよう努めている。

(6) 性に関する教育

①	A17 子どもの年齢・発達の状況に応じて、他者の性を尊重する心を育てるよう、性についての正しい知識を得る機会を設けている。	a
	<input type="checkbox"/> 他者の性を尊重し、年齢相応で健全な他者とのつき合いができるよう配慮している。	○
	<input type="checkbox"/> 性をタブー視せず、子どもの疑問や不安に答えている。	○
	<input type="checkbox"/> 性についての正しい知識、関心が持てるよう、年齢、発達の状況に応じたカリキュラムを用意し、活用している。	○
	<input type="checkbox"/> 必要に応じて外部講師を招く等して、性をめぐる諸課題への支援や、学習会などを職員や子どもに対して実施している。	○

【コメント】

子どもの性・生教育プログラムについては、年齢、発達状況別に実施している。具体的には生（性）教育委員会活動を行い、外部講師等を招き、子どもや職員の勉強会、研修会等を開催している。施設内の生活空間は、子どもの性別の他、生育状況や環境に配慮されており、共有できるスペースも確保されている。

(7) 行動上の問題及び問題状況への対応

①	A18 子どもの暴力・不適応行動などの行動上の問題に対して、適切に対応している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設が、行動上の問題があった子どもにとっての癒しの場になるよう配慮している。また、周囲の子どもの安全を図る配慮がなされている。	○
	<input type="checkbox"/> 施設の日々の生活が持続的に安定したものとなっていることは、子どもの行動上の問題の軽減に寄与している。また子どもの行動上の問題が起きた時も、その都度、問題の要因を十分に分析して、施設全体で立て直そうと努力している。	○
	<input type="checkbox"/> 不適切な行動を問題とし、人格を否定しないことに配慮をしている。職員の研修等を行い、行動上の問題に対して適切な援助技術を習得できるようにしている。暴力を受けた職員へ無力感等への配慮も行っている。	○
	<input type="checkbox"/> くり返し児童相談所、専門医療機関、警察等と協議を重ね、事態改善の方策を見つけ出そうと努力している。	○

【コメント】

子どもの暴力・不適切行動などの問題発生時には、児童相談所や専門的医療機関等のあらゆる機関と連携し、子どもの心に寄り添った支援に努めている。月1回、子どもを守る会を開催し、子どもに聞き取り調査を実施、問題行動等報告、検討を行い、外部委員よりアドバイスを受けている。またその結果を全職員で情報共有するようにしており、さらには保護者にも状況説明の連絡をしている。

②	A19 施設内の子ども間の暴力、いじめ、差別などが生じないよう施設全体で取り組んでいる。	a
	<input type="checkbox"/> 問題の発生予防のために、施設内の構造、職員の配置や勤務形態のあり方について定期的に点検を行っており、不備や十分でない点は改善を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 生活グループの構成には、子ども同士の関係性、年齢、障害などへの配慮の必要性等に配慮している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 課題のある子ども、入所間もない子どもの場合は特別な配慮が必要となることから、児童相談所と連携して個別援助を行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 大人(職員)相互の信頼関係が保たれ、子どもがそれを感じ取れるようになっている。子ども間での暴力やいじめが発覚した場合には、施設長が中心になり、全職員が一丸となって適切な対応ができるような体制になっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 暴力やいじめに対する対応が施設だけでは困難と判断した場合には、児童相談所や他機関等の協力を得ながら対応している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

毎月のアンケートで聞き取りをしている他、子どもに変わった様子がないか、職員で注視、情報共有に努めている。子ども同士トラブルが起きやすい関係性がある場合は、部屋を変える、メンバーを調整する等の手段を取る等するほか、原因究明と心情を受け止め、互いの気持ちが落ち着くまで待つ、等の支援をしている。さらには子どもに権利ノートの説明を年1回している。職員も虐待防止について施設内・外で研修、勉強等を行い、資質向上に努めている。

(8) 心理的ケア

①	A20 心理的ケアが必要な子どもに対して心理的な支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアを必要とする子どもについては、自立支援計画に基づき心理支援プログラムが策定されている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 施設における職員間の連携が強化されるなど、心理的支援が施設全体の中で有効に組み込まれている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理的ケアが必要な子どもへの対応に関する職員研修やスーパービジョンが行われている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職員が必要に応じて外部の心理の専門家からスーパービジョンを受ける体制が整っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 心理療法を行うことができる有資格者を配置し、心理療法を実施するスペースを確保している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 児童相談所と連携し、対象となる子どもの保護者等へ定期的な助言・援助を行っている。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

施設内の心理士による心理療法だけではなく、場合によっては、児童相談所心理士にも相談し、対応している。心理士の施設職員は必要に応じて、子どもにストレスチェックやストレスケア等を行い、さらには自立支援計画を基本として、心理支援プログラムを策定、実施している。また、心理士は施設内・外の研修・勉強会に参加し、スキルアップを図っている。

(9) 学習・進学支援、進路支援等

①	A21 学習環境の整備を行い、学力等に応じた学習支援を行っている。	a
	<input type="checkbox"/> 静かに落ち着いて勉強できるようにその時の本人の希望に沿えるような個別スペースや学習室を用意するなど、学習のための環境づくりの配慮をし、学習習慣が身につくよう援助している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学校教師と十分な連携をとり、常に子ども個々の学力を把握し、学力に応じた個別的な学習支援を行っている。一人ひとりの必要に応じて、学習ボランティアや家庭教師、地域の学習塾等を活用する機会を提供している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 学力が低い子どもについては、基礎学力の回復に努める支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 忘れ物や宿題の未提出について把握し、子どもに応じた支援をしている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 障害のある子どものために、通級による指導や特別支援学級、特別支援学校等への通学を支援している。	<input type="checkbox"/>

【コメント】

子どもの個々の学力に応じた学習支援をしている。施設内では学習塾の活用や公文を導入し、子どもの基礎学力の定着に努めている。さらには学習ボランティアや習い事の講師も受け入れている。居室の採光、通気性、机の位置等を配慮し、本人が学習し易い環境づくりに努めている。また、学習室等の共有スペースの環境整備もして、学習習慣が身につくよう支援している。

②	A22 「最善の利益」にかなった進路の自己決定ができるよう支援している。	a
	<input type="checkbox"/> 進路について自己決定ができるよう進路選択に必要な資料を収集し、子どもに判断材料を提供し、子どもと十分に話し合っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進路選択に当たって、本人、親、学校、児童相談所の意見を十分聞き、自立支援計画に載せ、各機関と連携し支援をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 就学者自立生活支援事業、社会的養護自立支援事業、身元保証人確保対策事業、奨学金など、進路決定のための経済的な援助の仕組みについての情報提供をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 進路決定後のフォローアップや失敗した場合に対応する体制ができており、対応している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 学校を中退したり、不登校となった子どもへの支援のなかで、就労(支援)しながら施設入所を継続することをもって社会経験を積めるよう支援している。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業後も進学を希望する子どものために、資金面、生活面、精神的面など、進学の実現に向けて支援、情報提供をしている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 高校卒業して進学あるいは就職した子どもであっても、不安定な生活が予想される場合は、必要に応じて措置延長を利用して支援を継続している。	<input type="radio"/>

【コメント】

進路については支援計画に基づいて、まず子どもの意見を尊重し、それに向かうにはどうしたら良いか、情報提供しその方法を子どもと一緒に考えるようにして取り組んでいる。

③	A23 職場実習や職場体験、アルバイト等の機会を通して、社会経験の拡大に取り組んでいる。	b
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、社会の仕組みやルールなど、自分の行為に対する責任について話あっている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 実習を通して、金銭管理や生活スキル、メンタル面の支援など、子どもの自立支援に取り組んでいる。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 実習先や体験先の開拓を積極的に行っている。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> 職場実習の効果を高めるため、協力事業者等と連携している。	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/> アルバイトや、各種の資格取得を積極的に奨励している。	<input type="radio"/>

【コメント】

職場実習等については、各学校が行っているものだけで、施設で実習先や体験先の開拓は行っていない。施設の高校生の子どもたちの中にはアルバイトをして貯金をし、社会経験をしている者もいる。日頃の職員と子どもの目標実現に向かう様子は、保護者通信(激励の言葉)の中に職員から子どもへの、はなむけの言葉として察することが出来るものの、巣立つ不安をより和らげ、見守り、激励し、道筋を提案、方向性を決めていく支援の取り組みに期待したい。

(10) 施設と家族との信頼関係づくり

①	A24 施設は家族との信頼関係づくりに取り組み、家族からの相談に応じる体制を確立している。	a
	<input type="checkbox"/> 施設の相談窓口および支援方針について家族に説明し、家族と施設、児童相談所が子どもの成長をともに考えることを伝え、家族と信頼関係を構築できるよう図っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 家庭支援専門相談員の役割を明確にし、施設全体で家族関係調整、相談に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 面会、外出、一時帰宅などを取り入れ子どもと家族の継続的な関係づくりに積極的に取り組んでいる。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 外出、一時帰宅後の子どもの様子を注意深く観察し、不適切なかわりの発見に努め、さらに保護者等による「不当に妨げる行為」に対して適切な対応を行っている。	<input type="radio"/>
	<input type="checkbox"/> 子どもに関係する学校、地域、施設等の行事予定や情報を家族に随時知らせ、必要に応じて保護者等にも行事への参加や協力を得ている。	<input type="radio"/>

【コメント】

家庭支援専門員を中心に、施設職員全体で信頼関係づくりに取り組んでいる。家族の要望があれば、一時的に帰宅させたり、子どもに関係する学校・地域、施設などの行事等や情報を家族に知らせるようにしている。さらには保護者同意のもとホームステイも行ったり、里親支援に登録する等、家族支援の拡充の取り組みが行われている。また、孤立化した親、精神的疾患を抱える親に対して、関係機関と連携して家族調整を行っている。

(11) 親子関係の再構築支援

①	A25 親子関係の再構築等のために家族への支援に積極的に取り組んでいる。	a
	□家庭支援専門相談員を中心に、ケースの見立て、現実的な取組を可能とする改善ポイントの絞り込みを行うなど、再構築のための支援方針が明確にされ施設全体で共有されている。	○
	□面会、外出、一時帰宅、あるいは家庭訪問、施設における親子生活訓練室の活用や家族療法事業の実施などを通して、家族との関係の継続、修復、養育力の向上などに取り組んでいる。	○
	□児童相談所等の関係機関と密接に協議し連携を図って家族支援の取組を行っている。	○

【コメント】

家庭支援専門員を中心に児童相談所とも連携して対応し、子どもに適切なアセスメントを取り、家庭復帰に向けての支援を行っている。さらには家庭復帰後の支援も継続し、定期的にコンタクトを取るようしており、子どもにとって、最適な支援となるよう、施設職員と関係機関等情報共有して、家庭復帰を目指す取り組みが行われている。